



2025年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月14日

上場会社名 株式会社ファイバーゲート 上場取引所 東 札
コード番号 9450 URL <https://www.fibergate.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 猪又 将哲
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 濱渦 隆文 TEL 011(204)6121
経営企画本部長
半期報告書提出予定日 2025年2月14日 配当支払開始予定日 2025年3月12日
決算補足説明資料作成の有無 : 有 (決算補足説明資料は、適宜、当社ホームページに掲載いたします。)
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年7月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	6,556	12.9	979	△10.9	969	△13.2	654	△10.5
2024年6月期中間期	5,806	11.6	1,098	10.8	1,117	13.9	731	8.2

(注) 包括利益 2025年6月期中間期 646百万円 (△12.7%) 2024年6月期中間期 741百万円 (9.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期中間期	32.29	32.25
2024年6月期中間期	35.97	35.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期中間期	12,877	6,248	48.1
2024年6月期	13,076	5,836	44.3

(参考) 自己資本 2025年6月期中間期 6,188百万円 2024年6月期 5,789百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	5.00	—	12.50	17.50
2025年6月期	—	13.50	—	—	—
2025年6月期（予想）	—	—	—	13.50	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,370	13.9	2,620	9.7	2,600	8.5	1,650	5.3	81.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料4頁「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 株式会社エネパルス、除外 1社 (社名) -
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年6月期中間期	20,593,600 株	2024年6月期	20,593,600 株
② 期末自己株式数	2025年6月期中間期	322,207 株	2024年6月期	322,207 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年6月期中間期	20,271,393 株	2024年6月期中間期	20,343,503 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、第2四半期 (中間期) 決算短信 (添付資料) 4頁「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2025年2月14日 (金曜日) に機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。
当日使用する決算説明会資料は当社ホームページに掲載いたします。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益 (円)
2025年6月期 中間期	6,556	979	969	654	32.29
2024年6月期 中間期	5,806	1,098	1,117	731	35.97
前年同期増減率 (%)	12.9	△10.9	△13.2	△10.5	△10.2

当中間連結会計期間(2024年7月1日～2024年12月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得改善が進み、緩やかな回復基調であります。一方で国際的な情勢不安や円安の影響などによる物価上昇などの景気の下押しリスクもあり、先行きは不透明な状況が続いており、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような状況下で当社グループは環境変化に合わせたビジネスモデルの転換を目指し「構内インフラ・インテグレーター」として、ユーザーへの最適通信環境を一括提供する企業としてさらなる成長を続けてまいります。

ホームユース事業におきましては、ストックビジネスの積上げ効果が安定的に継続しているとともに、従来より注力しておりますネットワークカメラやインターホン対応システムである「FGスマートコール」などのクロスセル商材の売上も堅調に推移しており、ホームユース事業における売上の割合も増加傾向にあります。

一方で機器の提供方法について売切方式を採用する案件を増加させており、取引初年度に原価が一括計上となることから利益率は一時的に減少傾向にあります。売切方式の採用により、取引初年度の利益率が減少するものの将来のストック収入の利益率改善及び償却資産の抑制に伴う税負担の軽減が今後期待できます。

以上の結果、ホームユース事業は売上高5,285百万円(前年同期比3.9%増)、セグメント利益1,331百万円(前年同期比10.1%減)となりました。

ビジネスユース事業におきましては、従来より注力していた医療介護施設、公共施設、観光施設向けの構内通信インフラサービスの売上が順調に伸長しております。これらターゲット3領域への売上はビジネスユース事業のおよそ6割を占めており、特に第1四半期連結会計期間では医療介護施設向け、第2四半期連結会計期間では観光施設向けの売上が伸長いたしました。

一方で、利益率が高くなる大型案件の減少により粗利率は減少傾向にあります。

以上の結果、ビジネスユース事業は売上高816百万円(前年同期比19.4%増)、セグメント利益151百万円(前年同期比2.4%減)となりました。

不動産事業におきましては、株式会社FGスマートアセットにおいて1件の不動産販売がありました。

以上の結果、不動産事業は売上高441百万円(前年同期は8百万円)、セグメント利益72百万円(前年同期はセグメント損失2百万円)となりました。

その他の事業におきましては、株式会社オフグリッドラボにおける再生可能エネルギー(電力)事業に関する売上がありました。また新規に設立した株式会社エネパルスの設立関連費用が発生しております。

以上の結果、その他事業は売上高13百万円(前年同期比51.1%減)、セグメント損失6百万円(前年同期はセグメント利益13百万円)となりました。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高6,556百万円(前年同期比12.9%増)、営業利益979百万円(前年同期比10.9%減)、経常利益969百万円(前年同期比13.2%減)、親会社株主に帰属する中間純利益654百万円(前年同期比10.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産

	前連結会計年度末	当中間連結会計期間末	増減(%)
総資産 (百万円)	13,076	12,877	△1.5
純資産 (百万円)	5,836	6,248	7.1
自己資本比率 (%)	44.3	48.1	8.8
1株当たり純資産額 (円)	285.59	305.30	6.9

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ198百万円減少し12,877百万円となりました。これは流動資産が61百万円減少、固定資産が136百万円減少したこと等によるものであります。

流動資産の減少は、現金及び預金が83百万円、商品が245百万円増加したものの、販売用不動産が349百万円減少したこと等によるものであります。固定資産の減少は主に当社通信サービス提供用の通信設備が91百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ610百万円減少し6,629百万円となりました。これは買掛金が239百万円、短期借入金が400百万円増加したものの、長期借入金（1年内返済含む）が980百万円、契約負債が176百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ412百万円増加し6,248百万円となりました。これは利益剰余金が401百万円、非支配株主持分が3百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末から83百万円増加し、2,203百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は1,659百万円（前年同期は1,053百万円の収入）となりました。これは税金等調整前中間純利益941百万円、減価償却費826百万円、仕入債務の増減額238百万円等による資金の増加があった一方で、契約負債の増減額176百万円、法人税等の支払額339百万円等による資金の減少があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は742百万円（前年同期は1,206百万円の支出）となりました。これは有形固定資産の取得による支出746百万円等による資金の減少があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は833百万円（前年同期は230百万円の支出）となりました。これは短期借入金の増減額400百万円による資金の増加があった一方で、長期借入金の返済による支出980百万円、配当による支出253百万円による資金の減少があったためであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の連結業績予想につきましては、2024年8月14日に発表しました「2024年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

今後の見通しにつきましては、引き続き検討を行い、連結業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

なお、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（連結業績予想）

（単位：百万円）

	2024年6月期（実績）	2025年6月期（予想）	増減率（％）
売上高	12,613	14,370	13.9
営業利益	2,387	2,620	9.7
経常利益	2,395	2,600	8.5
親会社株主に帰属する当期純利益	1,567	1,650	5.3

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,120	2,203
売掛金及び契約資産	1,980	1,940
商品	665	910
販売用不動産	489	140
仕掛品	0	7
貯蔵品	0	0
その他	87	78
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	5,339	5,277
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	35	34
工具、器具及び備品(純額)	10	13
通信設備(純額)	7,153	7,062
建設仮勘定	0	—
有形固定資産合計	7,200	7,109
無形固定資産		
ソフトウェア	67	59
ソフトウェア仮勘定	20	23
無形固定資産合計	88	83
投資その他の資産		
投資有価証券	11	11
敷金	46	45
繰延税金資産	372	334
破産更生債権等	1	1
その他	18	16
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	447	406
固定資産合計	7,736	7,599
繰延資産		
創立費	0	0
繰延資産合計	0	0
資産合計	13,076	12,877

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	623	862
短期借入金	140	540
1年内返済予定の長期借入金	1,203	1,118
未払法人税等	358	273
契約負債	1,317	1,140
賞与引当金	88	91
株式報酬引当金	—	1
その他	356	342
流動負債合計	4,086	4,371
固定負債		
社債	50	50
長期借入金	3,049	2,153
退職給付に係る負債	53	54
固定負債合計	3,153	2,257
負債合計	7,240	6,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	494	494
資本剰余金	423	423
利益剰余金	5,225	5,626
自己株式	△356	△356
株主資本合計	5,786	6,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	3	1
その他の包括利益累計額合計	3	1
株式引受権	—	8
非支配株主持分	46	50
純資産合計	5,836	6,248
負債純資産合計	13,076	12,877

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	5,806	6,556
売上原価	2,975	3,863
売上総利益	2,831	2,693
販売費及び一般管理費	1,732	1,713
営業利益	1,098	979
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取保険金	26	—
ポイント収入額	3	2
その他	2	0
営業外収益合計	31	3
営業外費用		
支払利息	12	12
為替差損	0	1
その他	0	—
営業外費用合計	13	13
経常利益	1,117	969
特別損失		
固定資産除却損	23	27
特別損失合計	23	27
税金等調整前中間純利益	1,093	941
法人税、住民税及び事業税	300	255
法人税等調整額	52	38
法人税等合計	352	293
中間純利益	741	648
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失 (△)	9	△5
親会社株主に帰属する中間純利益	731	654

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
中間純利益	741	648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	△0	△1
その他の包括利益合計	△0	△1
中間包括利益	741	646
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	731	652
非支配株主に係る中間包括利益	9	△5

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,093	941
減価償却費	764	826
株式報酬費用	11	10
固定資産除却損	23	27
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2	0
受取利息	△0	△0
支払利息	12	12
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△34	40
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△554	91
仕入債務の増減額 (△は減少)	379	238
契約負債の増減額 (△は減少)	△165	△176
為替差損益 (△は益)	△1	0
その他	△65	△5
小計	1,467	2,010
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△12	△11
法人税等の支払額	△401	△339
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,053	1,659
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,171	△746
無形固定資産の取得による支出	△20	△6
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	9
敷金の差入による支出	△14	—
その他	—	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,206	△742
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	300	400
長期借入れによる収入	400	—
長期借入金の返済による支出	△537	△980
自己株式の取得による支出	△188	—
配当金の支払額	△204	△253
財務活動によるキャッシュ・フロー	△230	△833
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△381	83
現金及び現金同等物の期首残高	2,382	2,120
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,001	2,203

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホーム ユース事業	ビジネス ユース事業	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,086	683	8	5,778	27	5,806	—	5,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,086	683	8	5,778	27	5,806	—	5,806
セグメント利益又は損 失(△)	1,482	154	△2	1,634	13	1,647	△548	1,098

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー(電力)事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△548百万円は、各報告セグメントに配分していない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホーム ユース事業	ビジネス ユース事業	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,285	816	441	6,543	13	6,556	—	6,556
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,285	816	441	6,543	13	6,556	—	6,556
セグメント利益又は損 失 (△)	1,331	151	72	1,555	△6	1,548	△569	979

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー（電力）事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△569百万円は、各報告セグメントに配分していない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。